

時の流れ

IWCの歴史は、開拓者精神を抱いた一人の起業家の大胆なアイデアによって幕を開けます。1868年、米国出身の時計師、フロレンティン・アリオスト・ジョーンズがスイスのシャフハウゼンにインターナショナル・ウォッチ・カンパニーを設立しました。卓越した技能を誇るスイスの職人と、近代的な工業技術、そしてライン川の水力を駆使し、米国市場向けに最高品質の懐中時計用ムーブメントを製造することを目指したのです。

ジョーンズは製造に必要な工場設備やインフラストラクチャーを短期間で準備し、年間1万個以上のムーブメントを製造できる能力を確保しました。ジョーンズ・キャリバーでは、プラットフォーム方式を採用し、1870年代初頭には最高品質のものが「パターンH」と呼ばれていました。時計として完成したものは米国に輸出され、現地の販売業者に納品されました。しかし株主の期待は大きく、これに応えることができなかったジョーンズは、1875年、米国への帰国を余儀なくされます。IWCの株主たちの意向により、別の時計会社でマネジャーを務めていた同じく米国出身のフレデリック・フランシス・シーランドがジョーンズの事業を引き継ぎます。

1880年、シャフハウゼンで工場を経営していたラウシェンバッハ家がIWCの全事業を買収し、販売網を世界へと広げました。新経営者のもと、製造工程の徹底的な改善と、新ムーブメントの開発に力が注がれました。ヨハネス・ラウシェンバッハ・シェンクの時代に当たる1884年、時と分をデジタル表示するバルウェーバー・ポケットウォッチが誕生し、「針のない時計」は1890年代前半に2万個が生産されました。記録によると、早くも1899年にはIWC製の腕時計第1号が登場しています。これは、プレスレット用にラグの付いた美しいケースの中に、IWCの女性向けポケットウォッチ・ムーブメント、キャリバー64を収めたものでした。

ヨハネス・ラウシェンバッハ・シェンクの死を受け、1905年にエルンスト・ヤコブ・ホームバーガーがIWCの経営を引き継ぎます。ホームバーガーはラウシェンバッハ家の末娘と結婚し、同家の一員となった人物です。当時は彼の義兄に当たる有名な精神科医、カール・グスタフ・ユングも経営に携わっていました。しかし、1929年にホームバーガーがユングの持ち株を取得し、IWCの単独所有者となります。非常に保守的な経営者であったホームバーガーは、1930年代の世界恐慌も乗り越え、IWCを成功へと導きます。困難な課題を解く鍵は、従業員を厳しく管理することと、未来を見据えた巧みな製品戦略でした。

この時代に、今やすっかりIWCの顔となった2つのコレクションが登場します。まずは1936年に誕生した「スペシャル・パイロット・ウォッチ」です。ホームバーガーにインスピレーションを与えたのは、飛行に魅せられた2人の息子たちでした。今なお受け継がれる「パイロット・ウォッチ」の基礎を築いたモデルです。一方、2人のポルトガル商人の依頼から「ポルトギーゼ」コレクションが生まれました。高精度のポケットウォッチ・ムーブメントを搭載した大型の腕時計でした。

ホームバーガーには起業家として先見の明もあり、1944年には、技術的な課題や製造工程のスペシャリストとして高い評価を受けていたアルバート・ペラトンをIWCの技術責任者に抜擢しました。彼こそがIWC初の自社製自動巻きムーブメントの開発を推し進めた人物です。このムーブメントは、ローターがいずれの方向にでもほんのわずかに動いただけで、その運動を主ゼンマイの巻き上げ動作に変換できる、非常に効率的な巻き上げ機構を備えていました。キャリバー85と名付けられ、1955年に発表された初代「インチュニア」でデビューを飾ります。このモデルは、磁場からムーブメントを守る軟鉄製インナーケースも備えていました。

同じ年、エルンスト・ヤコブ・ホームバーガーが死去したのを受け、息子であるハンス・エルンスト・ホームバーガーがIWCの経営を引き継ぎます。彼の指揮のもと、1967年には「アクアタイマー」が発表され、スポーティーかつエレガントなダイバーズ・ウォッチの伝統がその第一歩を踏み出します。水深200mまでの防水性を備え、潜水時間を設定するための回転式インナーベゼルが装備されていました。同じく1967年、あらゆるシーンに対応する高品質の時計、「ヨットクラブ・オートマティック」が登場します。IWCは、初のスイス製クォーツ・ムーブメント「ベータ21」の開発にも深く関与し、このムーブメントは1969年、特徴的な六角形のゴールドケースを備えた初代「ダ・ヴィンチ」で初披露されます。

1970年代半ば、ゴールド価格とスイスフランの高騰や、低価格のクォーツ時計の台頭により、スイス時計産業は大苦戦を強いられます。IWCも例外ではありませんでした。1978年、ドイツの計器メーカー、VDOアドルフ・シンドリング株式会社が新オーナーとなり、経営者としてギュンター・ブルムラインが迎えられます。大学で工学を修めたブルムラインは、販売やマーケティングについても豊富な経験を有していました。高品質の機械式時計に活路を見出した彼は、当時時計技師のリーダーであったクルト・クラウスの提案した機械式永久カレンダーの開発を支持します。そうして1985年にパーゼルで発表されたのが「ダ・ヴィンチ・パーペチュアル・カレンダー」です。2499年まで調整不要のカレンダー機構は、リューズで簡単に操作することができました。1990年には、「グランド・コンプリケーション」がこれに続き、IWCはオート・オルロジュリー（高級複雑時計製造）の頂点を極めます。さらに創立125年を迎えた1993年には、当時世界で最も複雑な時計であった「イル・デストリエロ・スカフージア」が登場します。

機械式時計の復活に加え、IWCが誇る独自の素材技術の基礎が築かれたのも、ブルムラインの時代です。1980年には初のチタニウム製腕時計が、1986年には初のブラックセラミック（酸化ジルコニウム）製腕時計が発表されます。工業デザイナー、フェルディナント・A・ポルシェとのコラボレーションによる一連の特別モデルも登場しました。その中でも特に強い印象を残したのが初のコンパス搭載モデルや、水深2000mまでの防水性を備えた「オーシャン 2000」です。

新世紀を迎えた2000年、IWCはリシュモン・グループの傘下に入ります。ギュンター・ブルムラインの突然の死を受け、ジョージ・カーンがIWCの新CEOに就任した2002年、伝説の「ビッグ・パイロット・ウォッチ」が46mmの堂々たるケース径で復活を遂げます。2003年には、永久カレンダーに南北両半球のダブルムーンフェイズ表示を備えたモデルが「ポルトギーゼ」コレクションから登場します。以来、IWCでは毎年6つのコレクションのうちひとつを刷新し、スイスのジュネーブで開催される国際高級時計見本市（SIHH）でこれを発表しています。21世紀も変わらず大躍進を遂げるIWCは、世界に名を知られる高級時計ブランドへと成長しました。

デジタル表示の永久カレンダーや、安全に潜水時間を設定できるIWCセーフダイブ・システム、新素材のセラタニウム®、便利なアニュアル・カレンダーといった革新的技術を発信し続けています。また、「ポートフィノ」と「パイロット・ウォッチ」の各コレクションにはミッドサイズモデルが、「ダ・ヴィンチ」コレクションには女性向けモデルが導入されました。2017年からクリストフ・グランジェ・ヘアを新CEOに迎え、創立

150周年を迎える2018年はジュビリーコレクションを発表します。IWCの歴史を飾る、バルウェーバー・ポケットウォッチや初代「ポルトギーゼ」に着想を得たラインナップは、手の込んだラッカー塗装で仕上げたホワイトまたはブルーの文字盤を備え、新たなデザイントレンドを牽引していくでしょう。

IWCシャフハウゼン

スイスの時計メーカー、IWCシャフハウゼンは1868年の創業以来、永遠の価値をもつ時計を製造し続けています。技術革新と創意工夫に情熱を傾け、世界的な名声を確立するに至りました。そして、世界をリードする高級時計ブランドとして、究極の精度と独創的なデザインを融合させ、高級時計製造のマニファクチュールならではの傑作を世に送り出しています。IWCは環境と社会に対する責任を果たす企業として、持続可能な製造の実践、子供たちや若者を対象とする活動に取り組む世界各国の組織の支援、そして環境保護を専門とする団体との提携を行なっています。

DOWNLOADS

ジュビリーコレクションの新モデルの画像は、
press.iwc.com からダウンロードをしていただけます。

FURTHER INFORMATION

IWC Schaffhausen
Department Public Relations
E-Mail press-iwc@iwc.com
Internet press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Web iwc.com/ja
Facebook facebook.com/IWCWatches
YouTube youtube.com/iwcwatches
Twitter twitter.com/iwc
LinkedIn [linkedin.com/company/
iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)
Instagram instagram.com/iwcwatches
Pinterest pinterest.com/iwcwatches
Blog iwcblog.com